

もちがせ流しびな行事《開催内容》

令和7年3月31日(月)

まちなかのひな飾り公開

10:00~16:00

町内の家庭で雛飾りを公開しています。歩きながら楽しめます。

流しびなづくり体験

先着40名

10:00~15:00

用瀬町2区公民館で流しびなづくり体験を行っています。(体験料500円)体験してみませんか。

俳句の投稿

10:00~16:00

投稿箱を各所に設置。投句・投稿をお願いします。

茶席

10:00~16:00

観光物産センター庭園と町内奥本邸に設けております。(有料)お気軽にお立ち寄りください。

朗読会『第21回雛がたり』

10:30~11:45

ひなまつりにまつわるエッセイ等の朗読会です。

■場所: 流しびなの館・ふれあいホール

甘酒サービス

11:00~14:00

5区公民館でひな飾り風景が見学できます。甘酒のサービスがあります。

お土産・物産販売

物産販売特設テント村、観光物産センターで、流しびな・郷土特産品などを販売しています。ご利用ください。

祈祷神事

13:30~13:45

流しびなの館対岸の千代河原(ふれあいの水辺)で祈祷神事を行います。祈祷護符(お札)は案内所にあります。当日の受け付けもしております。

雛のお焚きあげ

15:00~16:00

祈祷神事の斎場の隣で古い雛人形に感謝やお祝い、お清めの「お焚きあげ」を行います。

ひな流し

流しびなの館の対岸ふれあいの水辺で無病息災を願って行います。

観光に訪れた方々のひな流し体験

11:00~14:00

ご来町の観光客の方々のご自由に流していただけます。「流しびな」及び「祈祷・お札」は本部とテント村でお求めできます。

幼子のひな流し

14:15~14:45

着飾った幼児が約15分毎に3~4組で流します。

来年の旧暦3月3日は 令和8年4月19日(日)です

もちがせ流しびなの館

休館日/毎週水曜日【祝日の時は翌日休館です】
場 所/用瀬駅より徒歩5分



もちがせの流しびな

もちがせの流しびなは旧暦の三月三日、男女一対の紙雛を棧俵にのせ、菱餅や桃の小枝を添えて、災厄を託して千代川に流します。無病息災で二年間幸せに生活できますよう願う情緒豊かな民俗行事です。昭和六十年、県無形民俗文化財に、もちがせの雛送りとして指定されています。

もともと物忌みの行事で、紙などで人形(ひとがた)を作り、これで体をなで、災いをその人形(ひとがた)にうつして川や海に流す行事から生まれた風習です。この行事がいつの頃から始められたか、文献等の記録が少なく定かではありませんが、「源氏物語」に源氏の君が祓いをして人形(ひとがた)を舟に乗せ、須磨の海へ流すという著述があり、雛流しそのものの原型は、遠く平安時代にさかのぼるといわれています。ここもちがせには今日まで、時代の変遷と共に形を変えながらも、もちがせの流しびなとして受け継がれています。

INFORMATION

用瀬町までの交通案内

■ JR

流しびな行事に合わせて

用瀬駅に

臨時停車

用瀬駅から大阪方面へ

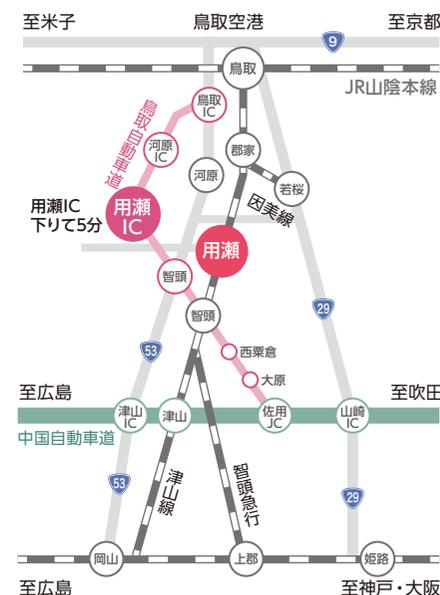
■ スーパーはくと12号・14号

岡山方面から用瀬駅へ

■ スーパーいなば3号・5号

用瀬駅から岡山方面へ

■ スーパーいなば8号



用瀬流しびな実行委員会

(一財)用瀬町ふるさと振興事業団

鳥取県鳥取市用瀬町別府 32-1 (流しびなの館内)
TEL 0858-87-3222 FAX 0858-87-3169
鳥取市 HP <https://www.city.tottori.lg.jp>
流しびなの館公式サイト <http://nagashibinanoyakata.jp/>

もちがせ

流しびな

江戸時代にさかのぼる流しびなは
男女一対の紙雛を棧俵にのせ
菱餅や桃の小枝を添えて無病息災を祈り
千代川に流す行事です。



日時

令和7年

3/31

AM10:00~

PM2:15~

場所

流しびなの館 周辺

用瀬町

鳥取市/もちがせ

